

令和6年度 家畜防疫・衛生指導対策事業に係る  
地域自衛防疫推進（防疫演習）開催要領

令和6年8月22日

一般社団法人岐阜県畜産協会

高病原性鳥インフルエンザは、令和2年度以降4シーズン連続で国内発生があり、特に過去最大規模の殺処分がされた令和4年度シーズンでは26道県84事例、約1,771万羽もが殺処分された。

また、岐阜県でも令和2年度及び5年度シーズンで発生しており、生産者においては、引き続き、自衛防疫の強化を図り、細心の注意を払うことが一層求められている。

このように毎シーズン発生するような中、周辺農場へのまん延防止を図るためには、迅速な防疫措置が重要となっていることから、万が一の大規模農場で発生した場合に備え、コンテナハウスや運搬用ラックなど新たな器具を用いた迅速かつ効率的な殺処分方法の検証を行い、生産者をはじめ、関係者の家畜衛生意識の更なる向上及び防疫体制の強化を図ることを目的に、岐阜県と共催し下記のとおり防疫演習を開催する。

記

- 1 開催日時 令和6年9月10日（火） 13:30~16:00
- 2 開催場所 可茂総合庁舎 公用車駐車場（美濃加茂市古井町下古井2610-1）
- 3 参集範囲 国、東海四県、県内市町村、関係団体、生産者等 約100名
- 4 演習内容
  - （1）講演  
「炭酸ガスボンベの安全な取扱いについて」  
講師：岐阜県高圧ガス協同組合
  - （2）実働演習  
「鶏の効率的な殺処分方法」  
実演：岐阜県職員  
講師：岐阜県農政部家畜防疫対策課職員
- 5 開催経費  
開催費用については、県及び協会負担  
協会負担分は家畜防疫・衛生指導対策事業にて対応